まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！

米村でんじろうサイエンスショーを開催

〔12月26日　市民会館大ホール〕

左）大きな風船が会場内に。子どもたちが大喜び　右）空気砲の仕組みを解説する米村さん

楽しい科学実験を体感してもらうことで、子どもたちの学習意欲の向上につなげることを目的として、市制10周年記念事業「米村でんじろうサイエンスショー」を開催しました。市内の小学生や保護者を中心に約640人が観覧し、興味津々に見入っていました。

ショーではテレビでおなじみの「空気砲」が登場。大きな穴を開けた箱をたたくと、中から煙の輪が飛び出し、ゆっくりと会場内を移動しました。ほかにも「ペーパーブーメラン」や遠心力、音や空気の重さを感じる実験などが行われ、会場は驚きと大きな笑いに包まれました。

米村さんは「実験には驚きがある。机に座っているだけでなく、実際に手を動かしてやってみることが大切。そうすることで理科が楽しくなる」と実験の魅力を語りました。

平成28年成人式―396人が大人の仲間入り

〔1月10日　アピカホール・西脇ロイヤルホテル〕

静粛な雰囲気の中で執り行われた成人式第1部記念式典

平成28年西脇市成人式が開催され、396人が新たに大人の仲間入りをしました。

成人式は、市内4中学校出身の新成人8人による「成人式運営委員会」が半年前から内容を企画。

第1部記念式典では震災などの犠牲者に黙とうを捧げた後、飛田拓真運営委員長が「これまでの支えに感謝し、今後は周りに喜びを与えられるような存在になろう」と呼びかけました。また、神部元さんと藤尾祐那さんが「社会人として言動に責任を持ち、目標に向かって日々まい進したい」と二十歳の決意を述べました。第2部交流会では、友人たちとの再会を喜ぶ姿がみられ、特産品が当たる抽選会や中学時代の恩師が登場するビデオレターなどで大いに盛り上がりました。また、被災地の学校支援を目的に、あしなが育英会への募金活動も行われました。

ベトナムから来日して2年目の20歳の企業研修生・グエンさんは「ベトナムには新成人を祝う風習がなく興味があった。とてもきれいで厳かな素晴らしい式典でした」と感動した様子でした。

みらいえ入館者が10万人を突破―開館2ヵ月半

〔1月5日　茜が丘複合施設Miraie〕

片山市長、笹倉教育長から新山さんご一家に記念品を贈呈

昨年10月18日に開館した「茜が丘複合施設みらいえ」の入館者が10万人を突破しました。10万人目の加東市の新山さんご一家には、花束や播州織のストールがお贈られました。「すごくいい施設だと聞き前から来てみたかった。想像していたより開放的で立派な施設」と笑顔で話されました。

大規模災害発生に備え協定を締結

〔1月14日　西脇市役所〕

左2人目から、藤田位医師会長、吉田光男歯科医師会長、来住泰幸薬剤師会長

西脇市多可郡医師会、西脇市多可郡歯科医師会、西脇市多可郡薬剤師会と、大規模災害時における救護所等での医療救護活動、歯科救護活動、医療品の確保の必要が生じた場合の協力に関する協定書を締結しました。これにより災害発生時には、さらに迅速かつ確実に医療救護等が行えることになります。

中学3年生の門出を祝う立春式

〔1月17日　市民会館大ホール〕

式典の司会進行や運営は中学3年生自らが担当

市民会館で立春式があり、市内の中学3年生が参加しました。立春式は、15歳で大人の仲間入りを祝った昔の「元服」にならったもの。参加者を代表して西脇南中学校の湯浅遼太さんが、「支えてもらった家族や友達、先生方や地域の方に感謝し、未来に向かって歩き出そう」と呼びかけました。

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介

「心をかたちに」をテーマに第32回子ども造形作品展が開催され、市内小・中学校や北はりま特別支援学校の児童・生徒の作品を一堂に展示（1月15日～18日、市民会館）

新春恒例の書き初め大会に市内の子どもたち57人が参加。まちづくり団体「西脇TMO」主催（1月9日、旧来住家住宅）

市民の皆さんが安心して新しい年を迎えられるように、西脇市消防団が年末の午後8時から夜半にかけて年末警戒を実施（12月28日～30日、市内各所）

西脇ライオンズクラブの青少年短期交換留学制度を利用して、マレーシアからリム・ウィー・ローさんが片山市長を表敬訪問（12月25日、西脇市役所）